※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年後期
使用教科書	国語表現「国語表現」　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・ 聞く能力」や、意思を伝えるための「書く能力」を身につけましょう。
・上記の能力を身につけるために、自分の意見を発表したり、周りの人と協働して課題を解決するための話し合いをしたりするなど、アクティブな活動を授業の中で行います。積極的に参加しましょう。
・語彙力を高めるために、意味がわからない言葉と出会ったときは、辞書を引いて調べることを心がけましょう。
・予習にはしっかりと取り組み、授業の後には内容を振り返って復習をしましょう。
・提出物の期限は守りましょう。
・小テストや定期考査は学習計画を立てて臨みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することをめざす。
(1) 実社会に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2) 実社会における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期	「表現とは何か」について考える。 ［教材］ 表現とは何か	(a)自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (b)[話／聞]「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 (c)導入のゲームを通じて、傾聴や身体表現などを進んで自ら体験し、学習課題に沿って表現が伝わったときの喜びを理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて、分かりやすく伝える方法を考える。 ［教材］ 分かりやすく説明しよう	(a)言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 (b)[話／聞]「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 (c)分かりやすい説明に必要なことを粘り強く理解しようとし、学習課題に沿って，言葉選びや言葉遣い、情報の整理の仕方などの観点から、説明の表現をよりよくしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	自分の身体が表現しているものについて考えを深める。 ［教材］ 身体で表現しよう	(a)自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている (b)[話／聞]「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 (c)即興で演じる活動を通じて、身体が表現することをよく意識し、スピーチや発表などの際に効果的に伝えられるよう、表現の仕方を改善しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	問う力・質問力が自他の表現および思考の質に大きくかかわることを認識し、その種類や機能を学び、活用法を習得する。 ［教材］ 「問い」を考えよう	(a)言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 (b)[話／聞]「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 (c)コミュニケーションや思考において「問う力」が重要であることを理解し、インタビューの企画、準備、実施、インタビュー記事の執筆活動に臨んでいる。	ワークシート 定期考査	ワークシート グループワーク 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	自己分析を行い、第三者の意見もふまえて、客観的に「自分」を把握する。	(a)自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「自分」を表現しよう	豊かにしている。 (b)[書]「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 (c)自分を表現する活動を通じて、相手に共感をもって聞いたり読んだりしてもらうために必要なことをよく理解し、改善しようとしている。			振り返りシート
	現代社会のトピックに対して、問題発見・課題分析を行い、問題解決能力を養う。 ［教材］ 論理的な文章を書こう	(a)自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (b)[書]「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 (c)小論文を書く活動を通じて、設問に応じて主張を組み立て、根拠を明確にしながら論じることを十分理解し、自らの文章を改善しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	合意形成を目的とする話し合いの展開パターンとそれを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。 ［教材］ 話し合う力をつけよう	(a)言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 (b)[話／聞]「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 (c)ファシリテーションの意義や技法を十分理解し、話し合いにおいて積極的に反映しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート グループワーク 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	本を紹介し合う活動を通して、さまざまな本と出会い、読書の楽しみを知る。 ［教材］ 表現と読書活動	(a)自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 (b)[書]「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 (c)紹介したい本を積極的に選び、その本の魅力を粘り強く探し、他の人にも興味を持ってもらえるように、紹介する内容を十分に吟味し、表現の仕方も工夫しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　２５　　）時間

・書くこと　…　（　　５０　　）時間

・読むこと　…　（　　）時間